

行政改革学生アイデアソン・ハッカソン (開催概要)

2025.6.6
行政改革推進本部事務局

1. 開催概要について

2. 行政事業レビューシートについて

1. 開催概要について

2. 行政事業レビューシートについて

本アイデアソン・ハッカソンは、行政改革の新たな姿を求めます。

- 社会が複雑化し、行政への要請は多様化しています。無駄の排斥を主眼とする旧来の行政改革ではなく、**デジタルやAIを活用した新たな行政改革のアプローチ**が必要です。
- そこで、本アイデアソン・ハッカソンでは、**レビューシートのデータ**を元に、

データの新たな利活用法

政策立案や行政サービスの新たな考え方

社会課題に対する新たな解決策

を、AI等を用いて、探索します。

取り組んでいただきたいテーマと検討の方向性の例

データの新たな利活用法

- レビューシートデータを可視化
- レビューシートデータと他の公的データ等を組み合わせることで、これまで見えてこなかった社会の姿を浮き彫りにする

政策立案や行政サービスの新たな考え方

- レビューシートデータや他の公的データ等の分析から示唆を得て、将来の政策立案の方法を検討
- レビューシートデータや他の公的データ等を分析し、効果的な行政サービスやその提供方法等を検討

社会課題に対する新たな解決策

- 身近な地域の課題などの自身が関心のある社会課題について、レビューシートデータや他の公的データ等を使いながら、効果的な解決策を検討

関係するデータ

検討に必ず使っていただくデータ

レビューシート（2024年度シート）（※後述）

[CSVデータのダウンロード | 行政事業レビュー見える化サイト RSシステム](#)

関連データを探索するうえで参考になるサイト

e-stat：政府統計のポータルサイト

[政府統計の総合窓口](#)

e-Govデータポータル：中央省庁のオープンデータポータル（統計以外を含む）

[トップ | e-Govデータポータル](#)

※ e-Govデータポータルには、国のデータベースサイト一覧も掲載されてますので、併せて参考にしてください。

スケジュール

6月30日（月） 応募締切

参加決定通知は7月22日（火）頃を予定しています。

8月30日（土） – 31日（日） Hack Day @東京都千代田区

2日目の午後に、成果発表と審査を行い、Award Dayへ進出するファイナリスト（5チーム程度）を決定します。（※メディアによる取材の可能性あり。）

10月（予定） Boost-up Day

ファイナリストは、Award Dayに向けて、メンターへ改善に向けた相談ができます。

11月（予定） Award Day @東京都内

ファイナリストによる最終プレゼンテーションと審査を行い、部門賞を決定します。

Award Dayの様子はインターネット配信を予定しています。（※メディアによる取材の可能性あり。）

Hack Day

- 2日間計10時間で、検討及びプレゼン資料を準備いただきます。事前に検討を進めていただいて構いません。
- プレゼンは1チーム4分間の予定です。
- プレゼンを踏まえ、Award Dayへ進むファイナリスト（5チーム程度）を選出します。
- 当日は、メンターへの相談が可能です。
- 当日は、相談とは別途、参加者とメンターとの交流の機会を設ける予定です。
- 各チームのプレゼンの概要は、後日、事務局のHPで紹介する予定です。
- 一部の時間帯はメディアによる取材の可能性があります。あらかじめお含みおきください。

Hack Dayでは、以下の企業のメンターがサポートします。

(並びはアルファベット順)

アマゾン ウェブ サービス
ジャパン 合同会社



日本オラクル株式会社



and more (調整中)

Award Dayでは、ファイナリストによる最終プレゼンを行い、以下の部門賞を決定します。

データ利活用部門

レビューシートや他のオープンソースのデータと組み合わせて分析・活用することで、新たな価値を生み出す取組

政策立案 ・課題解決部門

政策立案におけるデータ利活用の在り方を検討する取組や、社会課題に対する効果的な解決策をデータを用いて検討する取組

技術活用部門

データ分析やプロトタイプ*における技術の活用が創造的である又は技術水準が高い取組

*本アイデアソン・ハッカソンは、プロトタイプ開発を必須とするものではありません。

※各チームのプレゼンの概要は、後日、事務局のHPで紹介する予定です。

選考委員①



大屋 雄裕

Ohya Takehiro

慶応義塾大学法学部教授

選考委員②



小野 陽子

Ono Yoko

大妻女子大学データサイエンス学部教授

選考委員③



瀧 俊雄

Taki Toshio

株式会社マネーフォワード
執行役員 グループCoPA

選考委員④



中川 正洋

Nakagawa Masahiro

ボストン コンサルティング グループ
マネージング・ディレクター & パートナー

選考委員⑤



村上 将一

Murakami Shoichi

株式会社松尾研究所
取締役 AI開発事業 ディレクター

応募に当たって

対象者

学生（高校生を含む）の方又は学生のみで構成されるチーム

※ チームのメンバー数は3人程度を想定していますが、お一人での応募も可能です。会場都合により、チームメンバーの数は5人を上限とします。

※ 事務局でチーム編成・組成を希望する場合、その旨お知らせください。

書類審査

応募数により、すべての方に参加いただくのが難しい場合は、事務局で参加申込フォームから提出いただいた内容を踏まえ、参加者を決定します。

募集要項

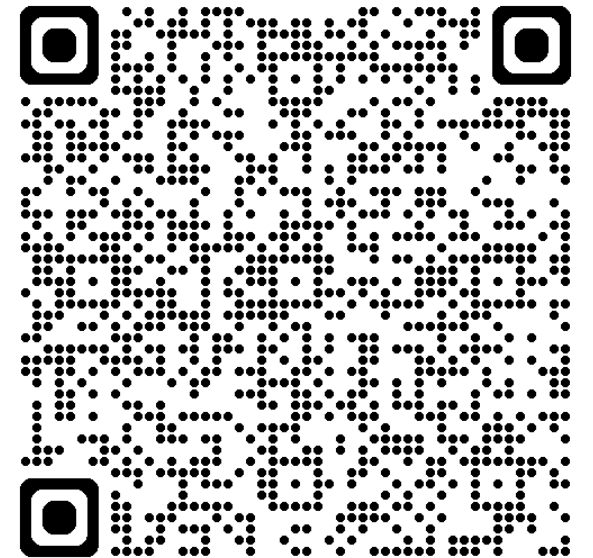
その他、応募に当たっては、募集要項をご確認ください。

申込期間と応募方法

申込期間 **2025年6月6日（金）から6月30日（月）23時59分まで**

応募方法 以下の申し込みフォームから応募ください。

<https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=6DkBnJJi0qvMEVxNh0TRNr1I4QQIbpJuqWTNrwN7nNUMIZIM1NaT0JGVEc2TFQ4Q0tNRjVRQkJOQi4u>



1. 開催概要について

2. 行政事業レビューシートについて

行政事業レビュー = 質の高い行政を実現するための取組

- 行政事業レビューとは、**各府省庁**が、予算や基金を用いて行う原則すべての事業を、毎年度、**自ら点検し**、その**点検結果を公表**する取組。
- EBPM(＊)の手法等を用いて、事業の目的・課題を踏まえて**成果指標を設定し**、**外部の視点も活用して点検**。
- 点検結果は翌年度の予算要求や事業の執行等に反映し、**事業の効果的・効率的な実施**につなげる。

＊EBPM (Evidence-Based Policy Making: エビデンスに基づく政策立案)

①政策目的、②その目的達成のために効果的な政策手段、③政策手段と目的の論理的なつながり（ロジック）を明確にし、さらに、④このつながりの裏付けとなるデータ等のエビデンス（根拠）を可能な限り求めることで、政策立案・実施・評価を実証的なものとし、政策の実効性や効率性を高めていく手法。

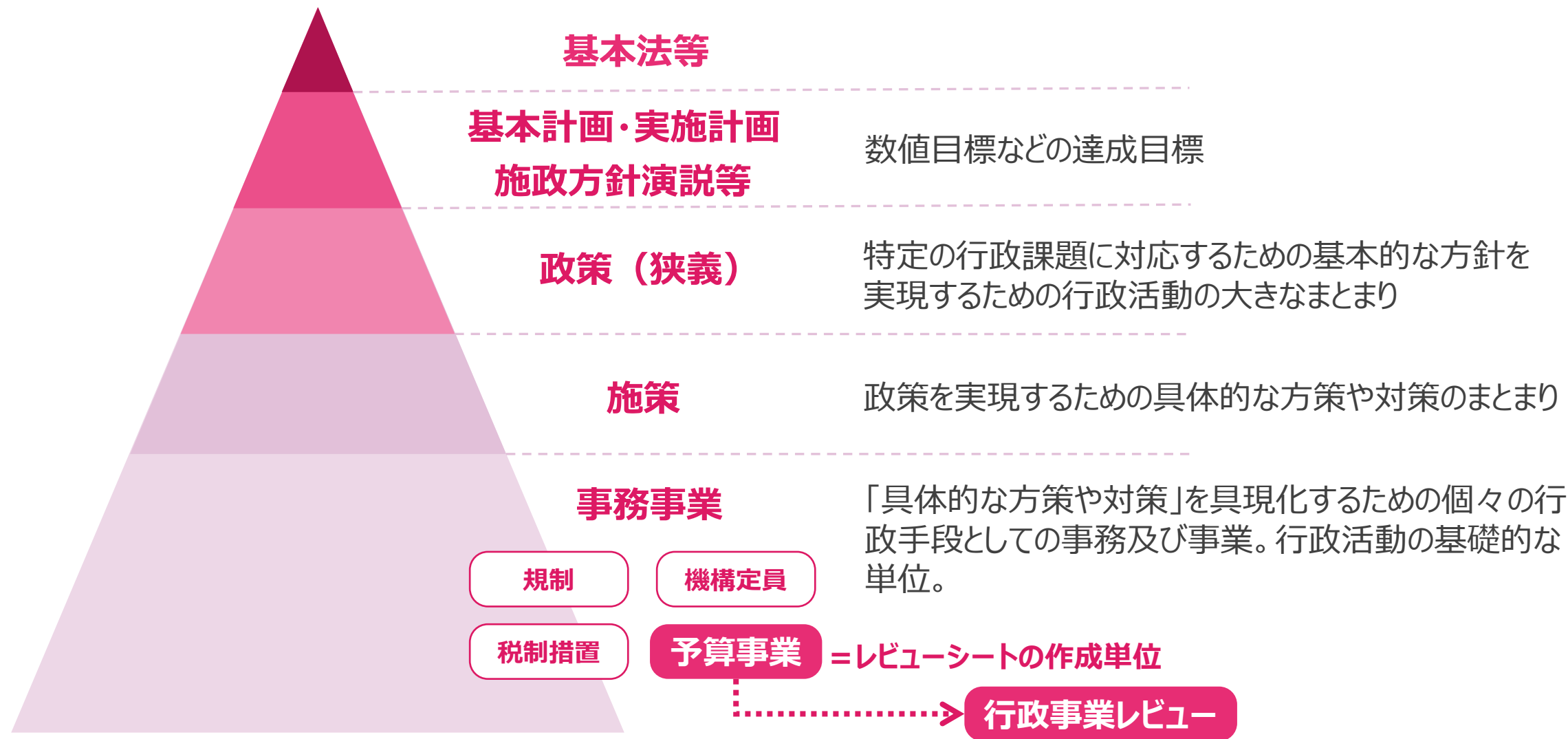
レビューシート = 事業の有効性を高め、質の高い行政を実現するための基礎データ

それぞれのシートには、**事業の目的や概要、予算や支出先に関する情報**だけでなく、**活動や成果に関する目標と実績**、自身や第三者による**点検・評価**など、**事業のPDCA(＊)**に必要な情報が記載。

＊PDCA（Plan-Do-Check-Action）とは

PDCAは品質管理や業務改善の手法のひとつで、Plan(事業計画の立案と目標の設定)、Do(事業の実施)、Check(事業の成果の点検・評価)、Action(事業の改善)を繰り返し行い、継続的な改善や向上を通じて、事業の有効性を高めていくもの。

行政事業レビューの位置づけ



※現実の政策の態様は多様であることから、施策が複数の階層から成る場合や事務事業に相当するものが存在しない場合、一つの施策や事務事業が複数の政策体系に属する場合など、三つの区分に明確に分けることが困難なこともあり得る。

予算事業を実施している分野

社会保障・医療・介護

農林水産・食・消費者

子ども・子育て支援

インフラ整備・都市開発

高齢化・人口減少

エネルギー・環境

雇用・労働環境

災害・危機管理

貧困・生活困窮対策

安全・治安・法制度

教育・人材育成

人権・ジェンダー平等

科学技術・イノベーション

包摂・多文化共生

デジタル・ICT推進

文化・スポーツ・観光

経済・産業振興

国際関係・経済安全保障

地域振興・地方創生

行政運営

国が予算事業で行っていること

社会福祉、援護、救済等

窓口・相談

振興、支援、発達

審査・検査(法執行)

施設整備

監督・監視・防止(法執行)

研修・人材育成

基準の策定

研究開発

計画・方針等の作成・推進

実証事業

外交・経済協力

広報・普及啓発

設備導入・物品購入・修繕

調査

システム開発・運用

レビューシートของข้อมูล (2024年度) は、以下で公開しています。

行政事業レビュー見える化サイト | CSVデータのダウンロード

<https://rssystem.go.jp/download-csv/2024>



(参考) 2023年度以前のレビューシートの主要事項のデータについては、以下のページで公開しています。

(※2024年度データとデータ構造等は異なります。)

行政事業レビュー - 行政事業レビューシートの主要事項のデータベース(<https://www.gyokaku.go.jp/review/database/index.html>)

レビューシートは以下に関する情報を含んでいます。

基本情報

: 事業名、所管課室、事業の目的、現状・課題、事業の概要、関係する政策・施策など

予算・執行

: 予算の会計区分、予算種別、予算額、翌年度要求額、執行額など

効果発現経路

: アクティビティ（具体的な活動内容）の内容、アクティビティごとに設定する活動目標や成果目標に関する指標や実績など。それぞれのアクティビティのロジックモデル（アクティビティ～アウトプット（活動目標）～アウトカム（成果目標）のつながり）も併せて確認できます。

点検・評価

: 事業所管部局や外部有識者による点検・評価の結果、過去に受けた指摘と対応状況など

支出先

: 当該事業からの支出先のうち、事業を実施するうえでの役割ごとの上位10者に関する情報（支出先の名称、金額、契約概要等）など

レビューシートのデータは、以下のファイルに分かれています。

基本情報

1-1_基本情報_組織情報

1-2_基本情報_事業概要等

1-3_基本情報_政策・施策、法令等

1-4_基本情報_補助率等

1-5_基本情報_関連事業

予算・執行

2-1_予算・執行_サマリ

2-2_予算・執行_予算種別・歳出予算項目

効果発現経路

3-1_効果発現経路_目標・実績

3-2_効果発現経路_目標のつながり

点検・評価

4-1_点検・評価

支出先

5-1_支出先_支出情報

5-2_支出先_支出ブロックのつながり

5-3_支出先_費目・使途

5-4_支出先_国庫債務負担行為等による契約

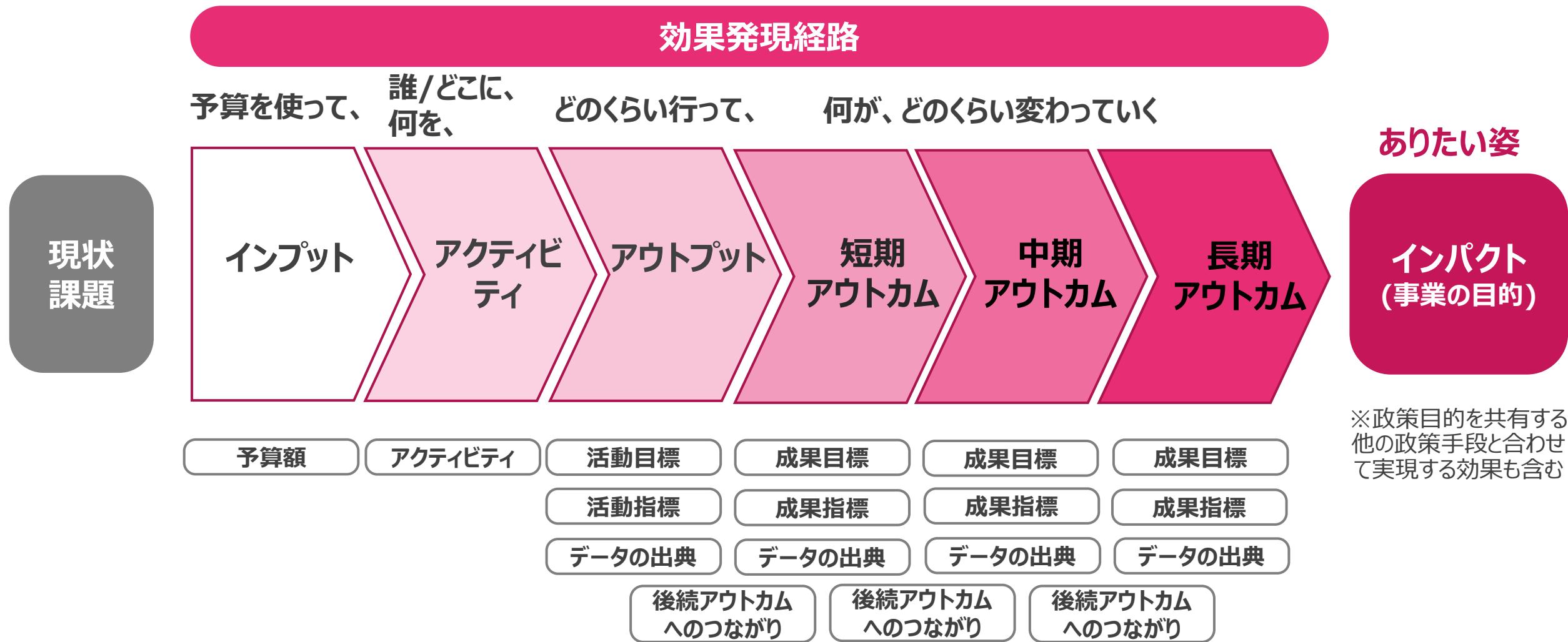
その他備考

6-1_その他備考

※ 各データがどのような情報なのかは、「行政事業レビューシート及びセグメントシート作成要領」をご確認ください。

https://www.gyokaku.go.jp/review/img/R07sakuseiouryou_5.pdf

効果発現経路とは、目的の実現に至るまでのつながり



参考：EBPM用語説明

用語	説明
効果発現経路（ロジック）	● 政策手段から政策目的達成に至るまでの論理的なつながりをいう。インプット、アクティビティ、アウトプット、アウトカム、測定指標の5要素で構成される。
ロジックモデル	● ロジックを整理・明確化するのに有用なツール。ロジックモデルは、政策課題とその現状に対し、政策手段から政策目的達成までの「経路」（ロジック）を端的に図示化したもの。 ● 政策目的の明確化に必要な4つの要素（現状把握、インパクト、課題設定、アウトカム）、ロジックの明確化に必要な5つの要素（アウトカム、アウトプット、アクティビティ、インプット、測定指標）、合わせて8つの要素で構成され、政策の基本的な枠組みが見える化される。
エビデンス	● 因果関係の裏付けとなるもの。 ● 狭義のエビデンスとは、政策手段の有効性を示す根拠をいい、効果発現経路においては、各構成要素間の「矢印」が成立する根拠となるもの。広義のエビデンスとは、政策の必要性を示す根拠も含む。
インプット（政策手段）	● 予算、税、規制、計画などの政策手段をいう。レビューシートにおいては、予算投入をいう。
活動内容（アクティビティ）	● 政策の具体的な活動（当該事業が、誰を対象に何を行うのか）。
活動目標（アウトプット）	● アクティビティをどれだけ実施するか（したか）に関する目標・指標。アクティビティを実施した結果として目指すべき事業の対象者（受益者）の行動・状態。
活動指標（アウトプット指標）	● 活動目標を達成しているか否かを測定するためのデータをいう。

参考：EBPM用語説明（つづき）

用語	説明
成果目標（アウトカム）	● アウトプットを通じて望まれる、事業対象者の変化（行動変容）など。インパクトを実現するために、この事業としてはどこまでを目指すのかがアウトカム。 ● 短期アウトカムは、そのうち短期間（原則 1 ～ 2 年程度）で効果が発現すると考えられるもので、長期アウトカムは、それより後に発現する、アクティビティの最終目標に相当するものである。
成果指標（アウトカム指標）	● 成果目標を達成しているか否かを測定するためのデータをいう。
定量的な成果目標／アウトカム	● データ（数値）によって、目標を達成しているか否かを判断できる成果目標／アウトカム。量の変化だけでなく、質の変化についても数値化して測定できないかを検討する。
定性的な成果目標／アウトカム （定量指標が設定できない成果目標）	● 目標を達成しているか否かを判断するための客観的なデータ（数値）を示せない成果目標／アウトカム。なお、直接的なアウトカム指標を設定できない場合でも、実態を把握するための参考指標となるデータ（数値）を設定できないかを検討する。
インパクト（目的）	● あるべき姿、目指すべき姿、国民・社会への影響（与える効果）。事業の実施を通して何を成し遂げようとしているのか、他の事業等の効果も併せて最終的に目指す姿。

参考：レビューシートのデータに関する補足説明

データ	説明
事業数・シート数	● 一つの予算事業で複数のシートを作成する場合があることから、実際の予算事業の数と一致するものではありません。
予算事業ID	● シートごとに付された一意の番号です。主キーとして使えます。
事業所管課室	● レビューシートは、原則として、予算の計上府省庁が作成します。そのため、予算の計上府省庁と執行府省庁が異なる場合、「1-1_基本情報_組織情報」においては、予算計上省庁は「所管府省庁」に、執行省庁は「府省庁（その他担当組織）」に記載される府省庁となります。 ● 予算計上府省庁と執行府省庁が異なる事業の例としては、デジタル庁、復興庁、国土交通省（観光庁）の一部の事業が該当します。
金額の単位	● 予算・執行及び支出先に関する情報における金額の単位は円単位となります。
予算額・執行額	● 各事業の予算額・執行額及びその集計額は、あくまで行政事業レビューの対象となる事業単位の予算額・執行額の数値となります。そのため、集計額の数値につきましては、国の予算書・決算書における数値と必ずしも一致するものではありません。 ● 2021～2023年度の予算額・執行額は2024年度に事業が存在する事業のものであるため、2021～2023年度に現に実施され2024年度時点で終了している事業のデータは含みません。 ● 2021～2023年度のデータは移行データであるため、各府省庁がHP上で公開している情報と差異がある場合があります。
歳出予算現額	● 当初予算額、補正予算額、前年度からの繰越額、予備費使用額等を含めたもの。

参考：レビューシートのデータに関する補足説明（つづき）

データ	説明
支出先情報	● 当該事業からの支出先のうち、事業を実施するうえでの役割（＝「支出先ブロック」といいます）ごとの上位10者に関する情報（支出先の名称、金額、契約概要等）を記載。そのため、当該事業に関する国からの支出のすべてを記載するものではありません。 ● 支出先情報については、国からの直接の支出だけでなく、再委託先等の国からの支出先からの支出も含まれます。 ● ブロック番号がありつつ、支出先ブロック名以降のデータがないものについては、支出情報ではなく、国庫債務負担行為等による契約情報（「5-4_支出先_国庫債務負担行為等による契約」に記載）が存在するものとなります。 ● 前年度の支出先情報となりますので、2024年度シートに記載されている情報は2023年度の支出先情報となります。
法人番号	● 法人番号公表サイトで公表されている法人番号ですが、個人や外国政府等の法人番号を有さない支出先もあります。
目標年度（効果発現経路）	● 「3-1_効果発現経路_目標・実績」において、目標年度行に「1」が入っている場合、当該年度に目標年度が設定されていることを示しています。

参考：レビューシート作成の際の参考文献

- 行政事業レビュー実施要領
- 行政事業レビューシート及びセグメントシート作成要領
- 行政事業レビューシート作成ガイドブック
- 別冊 2 行政事業レビューシート・基金シート改善のヒント
- 別冊 3 行政事業レビューにおける自己点検のポイント

▶ 以下のHPに掲載。

政府の行政改革 - 行政事業レビュー

(<https://www.gyouseikaku.go.jp/review/review.html>)

政府の行政改革
Administrative reform of the Government

行政改革推進本部

行政改革推進会議

行政事業レビュー

EBPMの推進

・政府の行政改革トップ > 行政事業レビュー

行政事業レビュー

行政事業レビューは、EBPM(エビデンス(根拠)に基づく政策立案)の推進が、政策判断の精度を向上させ、自らの政策立案に資することを踏まえ、各府省庁自らが、自律的にEBPMの手法等を用いて、事業の進捗や効果について成果目標に照らした点検を行い、事業の改善、見直しにつなげるとともに、予算が最終的にどこに渡り、何に使われたかといった実態を把握し、外部の視点も活用しながら、過程を公開しつつ事業の内容や効果の点検を行い、その結果を予算の概算要求や執行等に反映させ、また行政事業レビューシートを予算編成過程で積極的に活用することで、事業の効果的、効率的な実施を通じ、無駄のない、質の高い行政を実現するものです。
なお、令和6年度から「行政事業レビュー見える化サイト」において、各府省庁が作成したレビューシートを一元的に公表しています。

【行政事業レビューに係る基準・ガイドブック等】

- ・行政事業レビューの実施等について（H25.4.5閣議決定）
- ・行政事業レビュー実施要領（R7.3.31改正）PDF
- ・行政事業レビューシート及びセグメントシート作成要領PDF
- ・基金シート等作成要領PDF
- ・行政事業レビューシート作成ガイドブック Ver1.2PDF
- ・（別冊1）基金シート作成ガイドブック Ver1.1）PDF
- ・（別冊2）行政事業レビューシート・基金シート改善のヒント Ver1.1）PDF
- ・（別冊3）行政事業レビューにおける自己点検のポイント Ver1.1）PDF

32

参考：行政事業レビュー見える化サイト

(<https://rssystem.go.jp/top>)

行政事業レビュー見える化サイト
RSシステム

トップ シート検索 集計・分析 図 ご利用ガイド データの留意点 シートの総括表 CSVデータ お困りの場合



政府の予算の使われ方とその効果を
見える化して、わかりやすく。

政府が実施する予算事業や基金事業の情報のデータベースです。
事業の概要、成果目標や実績、支出先などを、関心・目的に応じて、自由に検索・閲覧できます。

レビューシートของข้อมูล (2024年度) は、以下で公開しています。

行政事業レビュー見える化サイト | CSVデータのダウンロード

<https://rssystem.go.jp/download-csv/2024>



(参考) 2023年度以前のレビューシートの主要事項のデータについては、以下のページで公開しています。

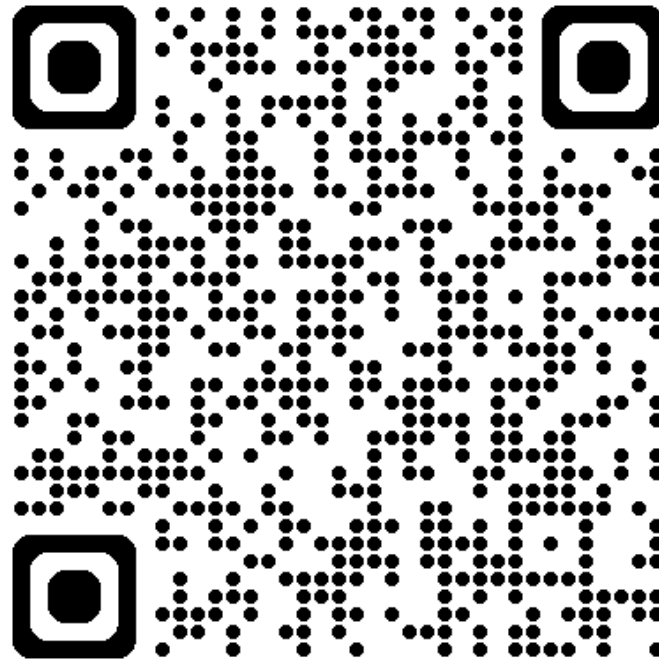
(※2024年度データとデータ構造等は異なります。)

行政事業レビュー - 行政事業レビューシートの主要事項のデータベース(<https://www.gyokaku.go.jp/review/database/index.html>)

本日の資料・募集要項は、録画を含めて、以下に掲載しています。

行政改革学生アイデアソン・ハッカソン

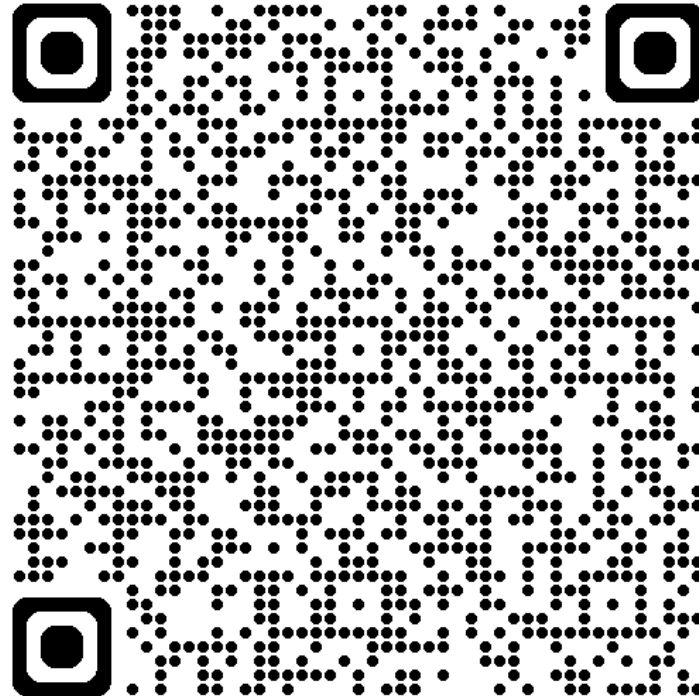
https://www.gyokaku.go.jp/review/hackathon_2/index.html



お問い合わせはこちらから

お問い合わせフォーム

[https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id= 6DkBnJJi0qvMEVxNh0TRNr1I4QQIbpJuqWTNrwN7nNURFA4UEpaMTc4VIVHOVJLNEVMMEdBm1hXQy4u](https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=6DkBnJJi0qvMEVxNh0TRNr1I4QQIbpJuqWTNrwN7nNURFA4UEpaMTc4VIVHOVJLNEVMMEdBm1hXQy4u)



皆さんの柔軟な発想や新しい考え方を期待しています。
ご参加をお待ちしております。